

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	307		
部 局 名	都市計画部	所 属 名	都市計画課
事務事業名	00759 都市景観形成推進事業	所 属 長	坂本 和好
		記 入 者	井上 正道

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	景観法・古都保存法・都市計画法（風致地区）等	
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します			
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり	関連する個別計画		大津市景観計画、古都大津の風格ある景観をつくる基本計画
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり			
重事	01	都市の発展と調和した景観形成				

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00760	屋外広告物景観推進事業	1303	都市計画課
	01900	都市景観施策促進事業	1303	都市計画課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	都市景観形成推進事業費	

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民への景観啓発活動として、景観絵画展やまちあるきイベントの開催、景観に関する内容のHPへの掲載等を行う。 古都大津の美しく風格ある景観づくりを推進するため、景観法や古都保存法等の法令による規制や誘導を行うとともに景観審議会を開催し、その意見を景観施策に反映させる。
-------	--

運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()
------	---

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	良好な景観の保全と新たな都市景観の創造を図るため
対象 (何又は誰を)	豊かな自然的景観・風格ある歴史的景観及び自然・歴史と調和した都市景観を創出する
手段 (どのようなやり方で)	市民向けの景観絵画展による良好な景観形成意識の醸成とともに、景観法や古都保存法等の法令に基づく規制誘導により古都大津の美しく風格ある景観づくりを推進する
成果 (どのような状態にするのか)	都市の魅力の向上と、まちに対する市民の愛着が育まれることになる

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		1,966	1,640	1,348	1,487	6,750	
人件費 B		10,980	10,226	9,178	9,636	9,636	
事業費合計 A+B		12,946	11,866	10,526	11,123	16,386	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	2,559	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	12,946	11,866	10,526	11,123	13,827	H 2 8 臨時職員増員（育休代替）
職員数(人)		1.80	1.40	1.26	1.35	1.35	
職員数の内訳	正規	1.20	1.20	1.06	1.05	1.05	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.60	0.20	0.20	0.30	0.30	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	景観計画区域内行為届出又は事前協議件数	件	目標	200	200	200	200	0
				実績	220	203	177	-	-
景観法に定める景観計画区域内行為の届出又は事前協議の件数									
活動指標	2	市民啓発事業等の開催数	回	目標	2	2	2	2	0
				実績	3	3	2	-	-
市民啓発事業等の開催数									
成果指標	1	適合通知率	%	目標	90	90	90	90	0
				実績	99.9	99	99	-	-
景観計画の指導の結果、適合通知を行った届出件数に対する割合									
成果指標	2	景観絵画展への作品出展数	人	目標	300	300	300	300	0
				実績	383	468	794	-	-
市民啓発事業である景観絵画展への作品出展数									

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	308	
部 局 名	都市計画部	所 属 名 都市計画課
事務事業名	01900 都市景観施策促進事業	所 属 長 坂本 和好
		記 入 者 井上 正道

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	景観法、古都天津の風格ある景観をつくる基本条例 大津市景観計画
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
	重事	01	都市の発展と調和した景観形成	関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00759	都市景観形成推進事業	1303	都市計画課
	00760	屋外広告物景観推進事業	1303	都市計画課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	都市景観施策促進事業費	

事業の概要
景観づくり重点推進地区である堅田・坂本地区において歴史資源を活かしたまちなみ形成のルールづくりに対する地域住民への活動支援を行う。また、都市機能と景観保全が調和したまちづくりを推進するため、「近江新八景ルール」に基づき、都心地区における良好な景観形成に向けた方針を検討する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	県都としての都市機能と、古都としての景観保全とが調和したまちづくり促進のため
対象 (何又は誰を)	本市の地域性豊かなまちなみや、自然的・歴史的環境と調和したまちなみ景観を保全し形成する
手段 (どのようなやり方で)	景観づくり重点推進地区(堅田・坂本地区)におけるまちづくり活動支援の展開、都心地区における良好な景観形成の手法として都心景観路の周知、近江新八景ルールへの提言に基づき景観アドバイザー制度を実施する
成果 (どのような状態にするのか)	古都天津にふさわしい風格あるまちなみが形成される

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,387	2,616	4,333	500	3,880	
人件費 B		11,640	13,506	13,245	14,417	14,417	
事業費合計 A+B		14,027	16,122	17,578	14,917	18,297	
事業費の内訳	国	958	599	531	0	0	H28より坂本地区修景補助
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	13,069	15,523	17,047	14,917	18,297	
職員数(人)		1.65	1.80	1.75	1.80	1.80	
職員数の内訳	正規	1.35	1.60	1.55	1.70	1.70	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.30	0.20	0.20	0.10	0.10	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	地域との協議回数	回	目標	8	8	8	3	3
				実績	9	9	8	-	-
	景観づくり重点推進地区での地域住民との協議回数								
	2				目標				
			実績						
成果指標	1	地区計画・景観協定等の計画を進める地域数	地域	目標	2	2	2	2	2
				実績	2	2	2	-	-
	地区計画の制定及び景観協定の締結等の計画を進める地域数								
	2	まちなみ整備に係る改修工事補助件数	件	目標	7	4	4	3	3
実績				2	2	3	-	-	
平成23年度より実施									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	先進地では、伝統的建造物の保全の取り組みや歴史的なまちなみの整備を地域主体で進めることで景観まちづくりが実施されている。来訪者の増加や地域活性化への成果が認められる。	
これまでの見直しや改善等の経過	景観形成・保全に向けた地域住民の合意形成には、地元の景観形成意識の高揚が求められることから、分かりやすいまちなみ修景の手引書づくりなど、継続性のある地域主体の景観形成施策を展開している。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	良好な景観形成・保全に向けた取り組みは地域主導が望ましいが、行政の支援により効率的に進めることができる。また、まちなみ形成のルールづくりに伴う制限規定や指針等の作成は行政が担うべき役割である。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	地域との連携により、まちなみ修景の手引書作成や修景補助に係る補助金要綱策定が進むなど、古都大津にふさわしい景観づくりのあり方の共通理解や景観形成の支援制度の整備が進んでいる。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	持続的な景観形成意識の高揚が、地域主導による景観施策の展開において重要となる。地道ではあるが、地域の活動や他部局の事業を捉えた啓発活動を重要視することにより、着実に事業が実施できている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	景観まちづくり施策は、長期的な視点と継続的な活動により達成されるものであるが、現在の状況など、その基盤整備は着実に進んでおり、今後も当該事業の継続が求められる。
---------	--	--

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	堅田・坂本地区においては、景観協定の区域の拡大や地区計画の区域の拡大促進を行う。特に坂本地区では、街路事業に併せて沿道の修景支援を進める。都心エリアにおいては、地域住民との協働による都心景観路の周知を進める。草津市との景観連携においては、景観基本計画策定及び各市景観計画への反映を進める。
部局長コメント	堅田・坂本両地区の修景補助事業対象区域においては、補助制度を活用して修景整備を推進するとともに、地域主導のもと、景観協定区域や地区計画区域の拡大を促進する。また、草津市との景観連携では、琵琶湖や東海道でつながる他の自治体との連携も視野に入れ、広域的景観の良好な形成に努める。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	100.00 %	100.00 %
	指標2	350.00 %	200.00 %	133.33 %
成果増減率	指標1	- %	±0.00 %	±0.00 %
	指標2	- %	±0.00 %	-50.00 %
活動単位コスト	指標1	1,558 千円	1,791 千円	2,197 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	7,013 千円	8,061 千円	8,789 千円
	指標2	7,013 千円	8,061 千円	5,859 千円
コスト増減率		- %	+5.97 %	+14.51 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	309		
部 局 名	都市計画部	所 属 名	都市計画課
事務事業名	00760 屋外広告物景観推進事業	所 属 長	坂本 和好
		記 入 者	伊藤 愛子

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市屋外広告物条例、屋外広告物法等
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します	関連する個別計画	天津市景観計画
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
重事	02	独自性のある屋外広告物施策の推進			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00759	都市景観形成推進事業	1303	都市計画課
	01900	都市景観施策促進事業	1303	都市計画課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	屋外広告物景観推進事業費	

事業の概要
 除却ボランティア団体「天津まちなかスッキリ士隊」の活動など、市民協働による取り組みを行うことで、はり紙等の簡易な違反屋外広告物の減少に努めていくとともに、無許可及び基準違反の屋外広告物に対する是正指導等を継続的に行い、法令遵守に向けて違反広告物対策を推進している。また、景観保全型広告整備地区の指定の検討を行い、良好な景観の保全に努める。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	歴史や自然と調和した都市景観形成と良好な景観保全のため
対象 (何又は誰を)	屋外広告物及び屋外広告業者並びに一般市民を対象
手段 (どのようなやり方で)	天津市屋外広告物条例、屋外広告物ガイドラインに基づく規制誘導、ならびに市民・事業者・行政の三者協働による違反広告物対策の展開。また、良好な景観を持つ地域に対し景観保全型広告整備地区への指定の検討
成果 (どのような状態にするのか)	適正な広告物の増加により、良好な景観保全を形成する

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,989	2,539	8,744	2,888	7,455	
人件費 B		16,190	19,146	19,715	22,746	22,746	
事業費合計 A+B		19,179	21,685	28,459	25,634	30,201	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	19,179	21,685	28,459	25,634	30,201	
職員数(人)		4.65	5.00	5.05	5.45	5.45	
職員数 の内訳	正規	0.45	0.80	0.85	1.15	1.15	
	嘱託	4.00	4.00	4.00	0.00	0.00	
	臨時	0.20	0.20	0.20	4.30	4.30	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	屋外広告物許可物件数	件	目標	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
		実績		3,466	3,083	3,888	-	-	
天津市屋外広告物条例に基づく屋外広告物の許可に係る物件数									
活動指標	2	違反広告物に対する指導物件	件	目標	1,000	1,000	1,000	500	500
		実績		117	326	163	-	-	
許可申請において是正指導した件数及び未申請の違反広告物に対して指導した件数									
成果指標	1	違反広告物除却物件数	件	目標	1,000	1,000	1,000	500	500
		実績		503	309	161	-	-	
簡易除却制度を活用した除却件数(簡易除却物件は、電柱に貼ってある、違法なはり紙・はり札等)									
成果指標	2	違反屋外広告物除却ボランティア登録者数	人	目標	400	400	400	300	300
		実績		400	390	253	-	-	
除却ボランティア「天津スッキリ士隊」の登録者数									

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	310		
部 局 名	都市計画部	所 属 名	都市計画課
事務事業名	02394 歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業	所 属 長	坂本 和好
		記 入 者	井上 正道

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します	関連する個別計画	都市計画マスタープラン、歴史文化基本構想
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
重事	04	歴史と文化を活かしたまちづくりの推進事業			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	歴史的資源を活かしたまちづくり推進事業費	

事業の概要
 都市計画マスタープランのまちづくりの目標に掲げている、古都大津の自然、歴史、文化を生かした魅力あふれるまちづくりの実現、及び良好な市街地の環境としての歴史的風致を後世に継承するため、大津市歴史的風致維持向上計画を策定する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市全域を対象に歴史的風致の維持向上を図ることを目的に、歴史的風致維持向上計画を策定する
対象 (何又は誰を)	市全域において、歴史文化資源の活用及び地域の伝統的な活動の活性化に向け活動をされている方々
手段 (どのようなやり方で)	市全域における歴史まちづくりに寄与する団体への意見聴取を実施 歴史的風致の維持及び向上に資する事業の実施
成果 (どのような状態にするのか)	市全域の歴史的風致の維持及び向上が図られている

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,194	338	431	16,025	1,083	
人件費 B		5,330	6,314	9,628	12,450	12,450	
事業費合計 A+B		7,524	6,652	10,059	28,475	13,533	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	7,524	6,652	10,059	28,475	13,533	
職員数(人)		0.65	0.77	1.16	1.50	1.50	
職員数 の内訳	正規	0.65	0.77	1.16	1.50	1.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	市が支援するまちづくり活動	回	目標	0	0	6	2	2	
				実績	0	0	6	-	-	
	歴史的資源の活用・組織づくり検討会議の開催回数・歴史的資源の掘り起こし・交流支援回数									
	2	歴史まちづくり法の取組に係る庁内会議及び法定協議会の開催数	回	目標	3	8	6	4	2	
実績				3	8	6	-	-		
歴史的風致維持向上計画の策定に向けた庁内会議及び法定協議会の開催数										
成果指標	1	地域住民主体の地域活性化に向けたまちづくり活動	回	目標	0	0	0	0	1	
				実績	0	0	0	-	-	
	地域住民が主体となった、まちづくり活動の開催回数									
	2	歴史的風致維持向上計画策定の進捗率	%	目標	19	55	75	100	100	
実績				19	35	75	-	-		
各年度予算額(執行額) / 全体予定額										

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	406				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	文化財保護課	所 属 長	山口 秀一
事務事業名	02076	伝統的建造物群保存対策推進事業	記 入 者	福田 敬	

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化財保護法・伝統的建造物群保存地区保存条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します	関 連 する 個別計画	
	施策	02	湖都にふさわしい景観づくり		
	視点	01	次代に引き継ぐ景観づくり		
重事	03	伝統的建造物群保存地区の保存			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	伝統的建造物群保存対策推進事業費	
事業の概要	坂本伝建地区は、「穴太衆積み」で知られる石積みや土塀・生垣の門構えの景観にその特徴をもつ。主屋が道路から後退して建てられており、その景観は、門・石垣・土塀・生垣と塀や垣越に垣間見られる庭木や主屋が重層的に複合した外観を形成している。この景観を保全し、坂本らしいまちづくりを進める。平成9年10月31日付けで国の重要伝統的建造物群保存地区に選定。				
運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	坂本地区の景観保全のために
対象 (何又は誰を)	伝統的建造物群保存地区内の建造物群等を対象に
手段 (どのようなやり方で)	補助金を交付すること等により
成果 (どのような状態にするのか)	伝統的建造物群を保全し、地域の特色ある景観を整備する。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		11,497	2,172	6,701	1,843	8,810	
人件費 B		4,920	4,703	5,585	6,532	6,532	
事業費合計 A+B		16,417	6,875	12,286	8,375	15,342	
事業費の内訳	国	5,583	1,006	3,325	771	4,218	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	10,834	5,869	8,961	7,604	11,124	
職員数(人)		0.60	0.65	0.75	0.85	0.85	
職員数の内訳	正規	0.60	0.55	0.65	0.75	0.75	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.10	0.10	0.10	0.10	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	保存地区内の建造物等の修理修景 (対象293件)	件	目標	3	3	4	2	2
				実績	2	1	1	-	-
伝建地区内における修理・修景事業に対して補助				目標					
				実績					
成果指標	1	修理修景事業の進捗	%	目標	29.3	30	31.4	32.4	32.4
				実績	29	29.4	29.7	-	-
伝建地区内の対象物件に対する修理・修景済の割合				目標					
				実績					

